

キンメダイ

太平洋系群

主な漁業と漁期

底立てはえ縄: 周年

立縄: 周年

生態

キンメダイは世界中の熱帯から温帯域の水深200～800 m前後の海山や陸棚縁部に分布しています。我が国の太平洋沿岸では重要な漁獲対象資源として利用されており、関東沿岸から伊豆諸島周辺の海域は最大のキンメダイ漁場となっています。

●回遊

標識放流の結果から、伊豆東岸沖のキンメダイの多くはこの海域に滞留していますが、一部のキンメダイは、伊豆諸島南部海域、高知県沖、南西諸島沖まで大きく移動することがわかっています。

●産卵期・産卵場

産卵期: 相模湾から伊豆諸島周辺海域では6～10月で、最盛期は7～8月とされています。

産卵場: 関東沿岸、伊豆諸島周辺海域、小笠原沖などの成魚が生息する海域で広範囲に産卵が行われています。

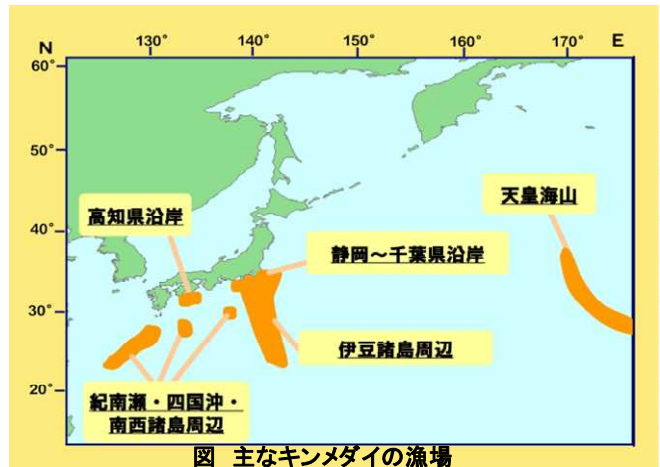


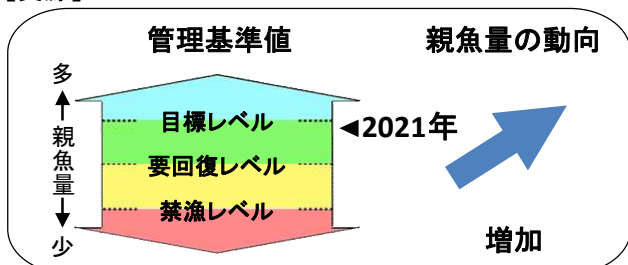
図 主なキンメダイの漁場

●成長

1歳で19cm、2歳で22cm、3歳で25cm、4歳で28cm、5歳で30cm、10歳で39cm前後に成長します。4～5歳で産卵を開始します。20年以上経過して標識魚が再捕されたことがあるため、寿命は20年以上です。

漁業・資源動向

【資源】



- 1 関東沿岸から伊豆諸島周辺海域における2021年の親魚量は23.1千トンと推定され、MSYを達成する目標レベルである24.3千トンを下回っています。
- 2 親魚量の動向は2017年以降増加傾向にあると推定されました。
- 3 漁獲圧は2019年以降はMSYを実現する水準以下となっています。

《国の資源評価へのリンクはこちら》
ダイジェスト版

https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2022/simple_2022_37.pdf

詳細版

https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2022/details_2022_37-Kinme-P.pdf

用語集

<https://abchan.fra.go.jp/about/yougo/>

【漁業】

- 1 キンメダイの主な水揚げ港を有する千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、高知県の漁獲動向は2005年から2009年まで7千トン台で安定していましたが、その後減少傾向で2021年は4,136トンでした。
- 2 県内の水揚げ量は2005年からは3,000トン程度で比較的安定していましたが、2010年には2,500トン台となり、減少傾向を示し、その後、2021年は1,321トンとなりました。
- 3 静岡県では、漁業者による自主的な資源管理(休漁日の設定、小型魚の保護、漁具の制限など)を行っています。

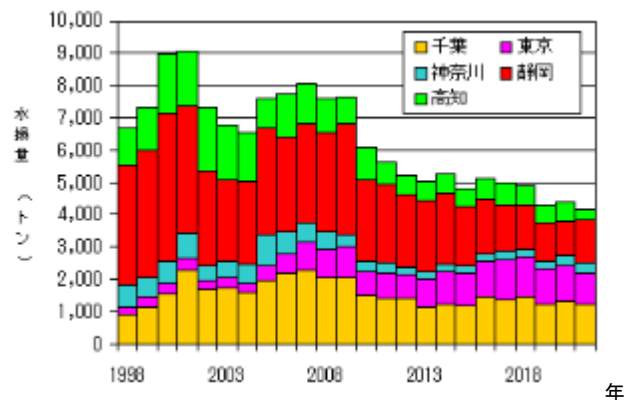


図 千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、高知県のキンメダイ水揚げ量の推移

担当者の一言: 静岡県では現在、種苗生産を目標とした研究を行っています。

問合せ先

静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場 0558-22-0835